

孤立的高齢世帯から捉える 高齢世帯の住環境について

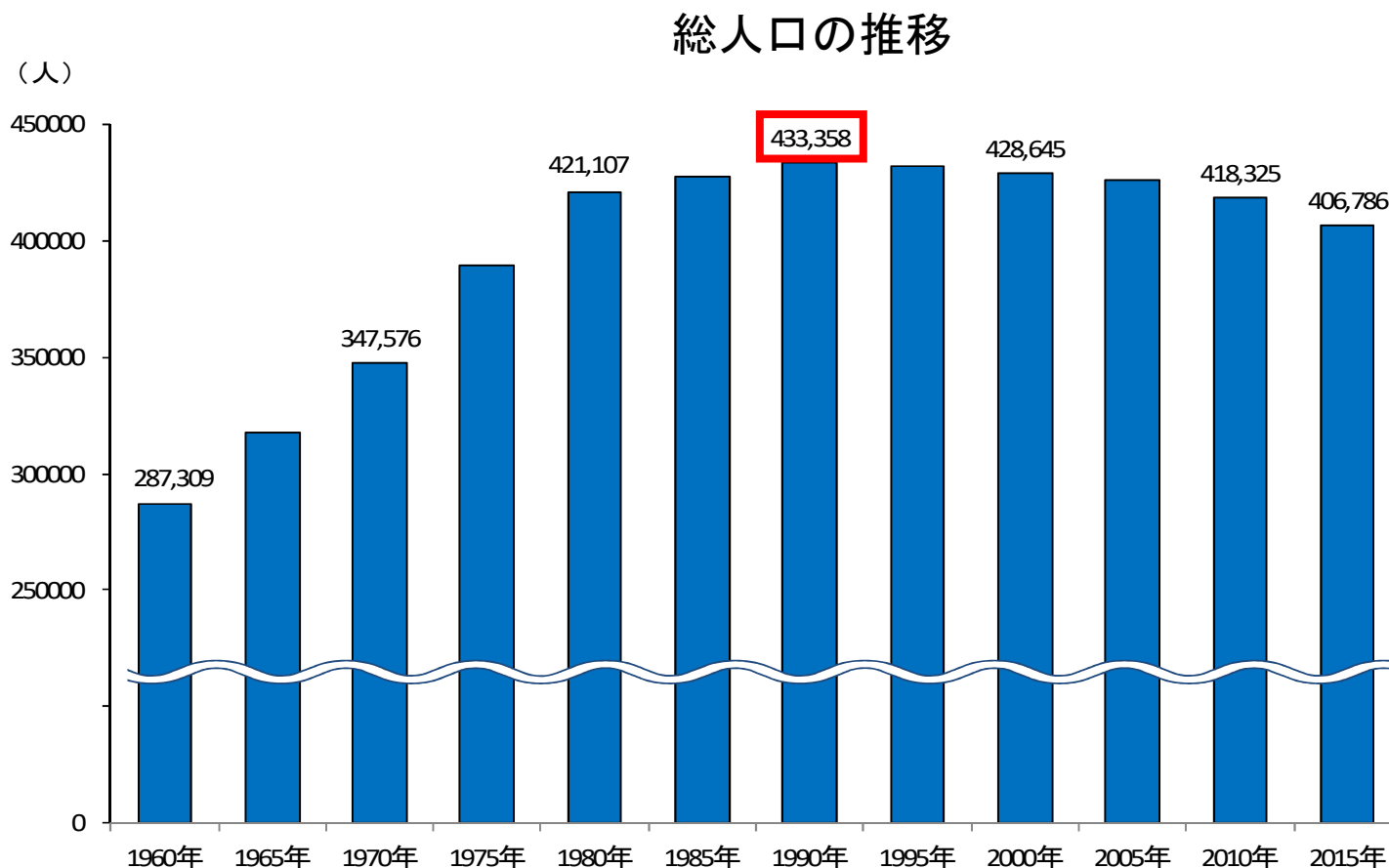
平成30年(2018年)1月25日(木)



横須賀市都市政策研究所
Urban Policy Institute, Yokosuka City

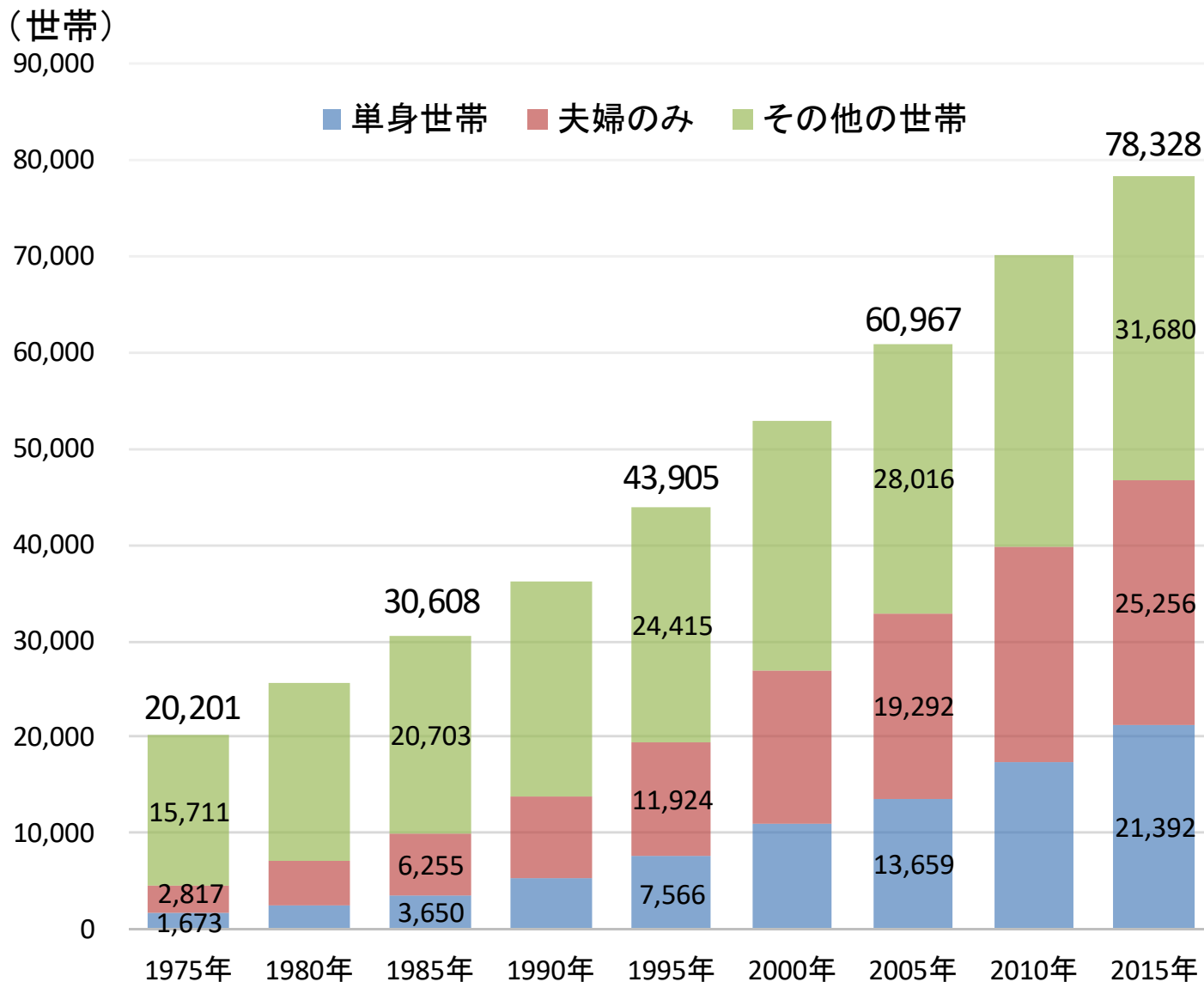
横須賀市の総人口の推移

- 1990年の43万3,358人をピークに、横ばいから緩やかな減少傾向。
- 2010年にはピークの1990年からの20年間で約1万5千人減少、2015年には2010年から5年に満たない間で約1万2千人減少。



出所:総務省「国勢調査」、横須賀市「推計人口」(2015年1月)をもとに作成

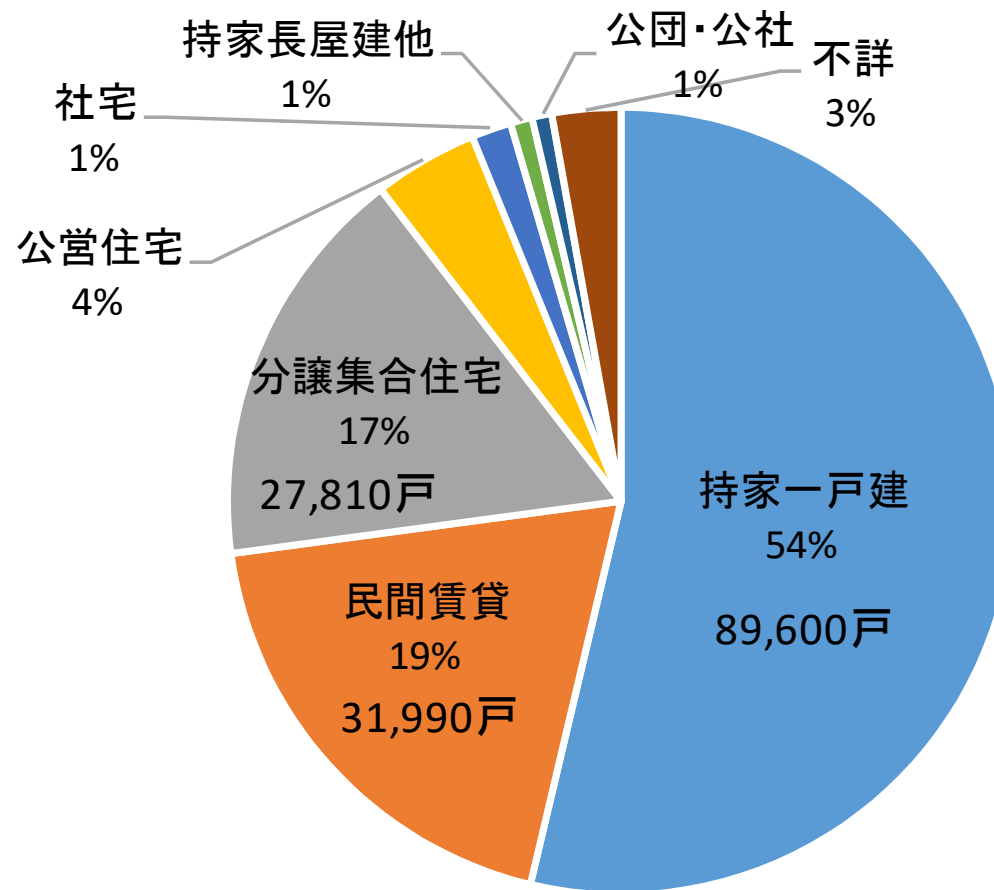
横須賀市の65歳以上の高齢者がいる世帯の動向



出所:総務省(1975~2015)「国勢調査」

横須賀市の住宅ストック

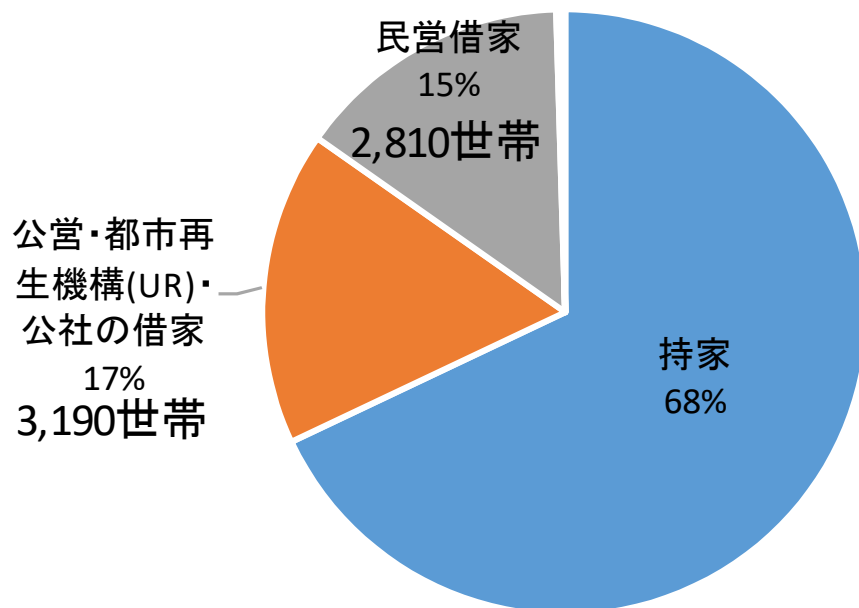
持家が約7割



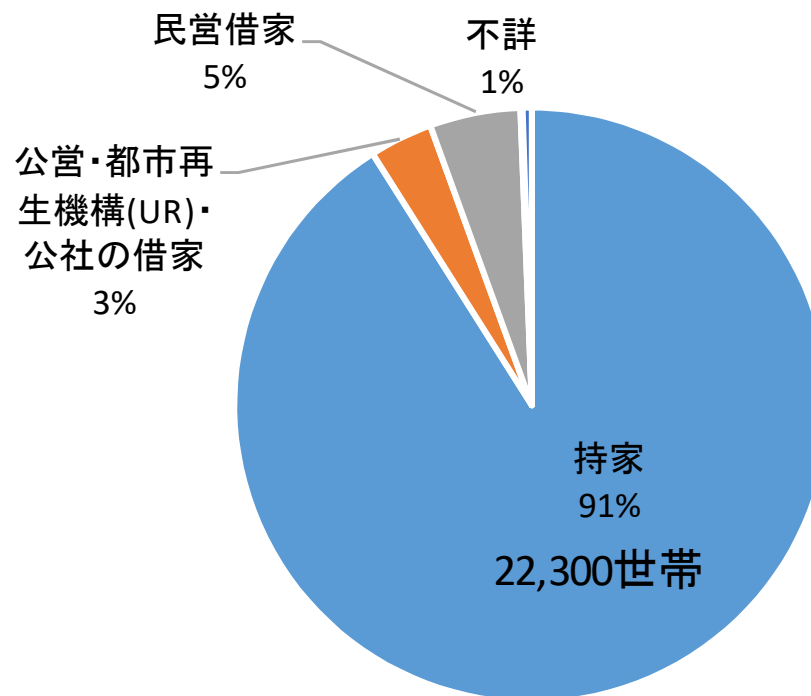
出所:総務省(2013)「住宅・土地統計調査」

横須賀市の65歳以上高齢世帯の住宅所有の関係

65歳以上単身世帯



65歳以上夫婦世帯



65歳以上単身世帯：持家7割、借家3割

65歳以上夫婦世帯：ほぼ持家一戸建て

(持家の8割が一戸建てのため)

孤立的高齢世帯の定義

住宅・土地統計調査「子の居住地別世帯数」

一緒に住んでいる	同居・隣居	親族ネットワークのある高齢世帯
同じ建物に住んでいる		
徒歩5分程度の場所に住んでいる	近居	
片道15分未満の場所に住んでいる		
片道1時間未満の場所に住んでいる		
片道1時間以上の場所に住んでいる	遠居	
子はいない	無子	

横須賀市の孤立的高齢世帯数の推移

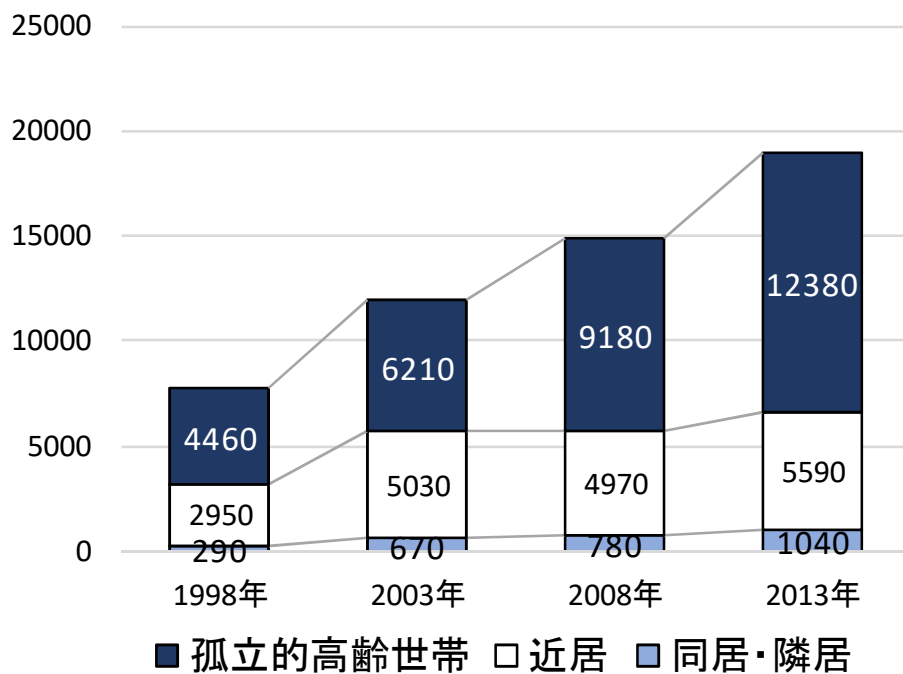
「**孤立的**」と「**近居**」が増加傾向

※神奈川県内の市でも、「近居」は増加傾向。「孤立的」は傾向にばらつきが見られる。

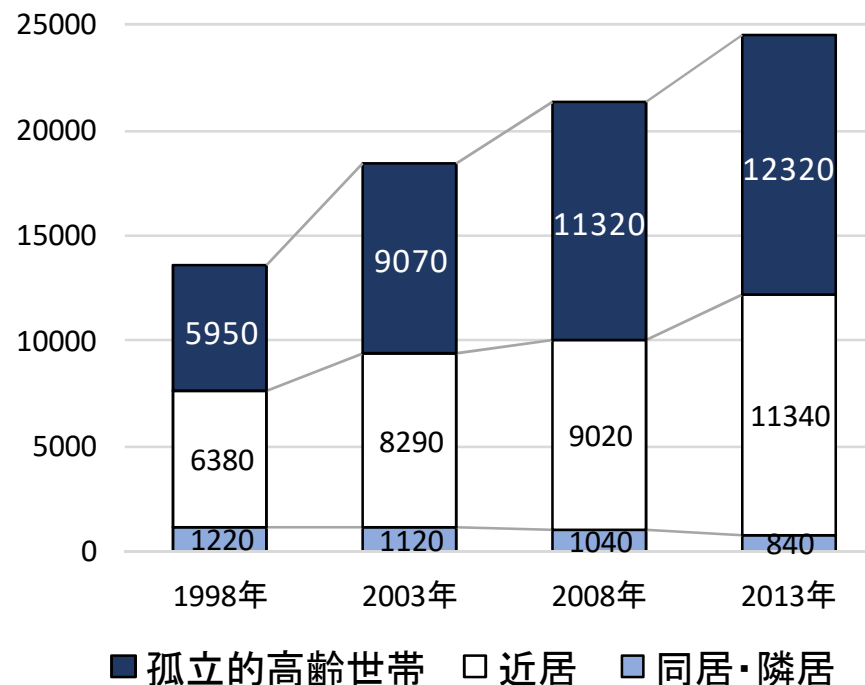
2013年度孤立的高齢世帯

単身=12,380世帯
夫婦=12,320世帯
計 24,700世帯

高齢単身世帯



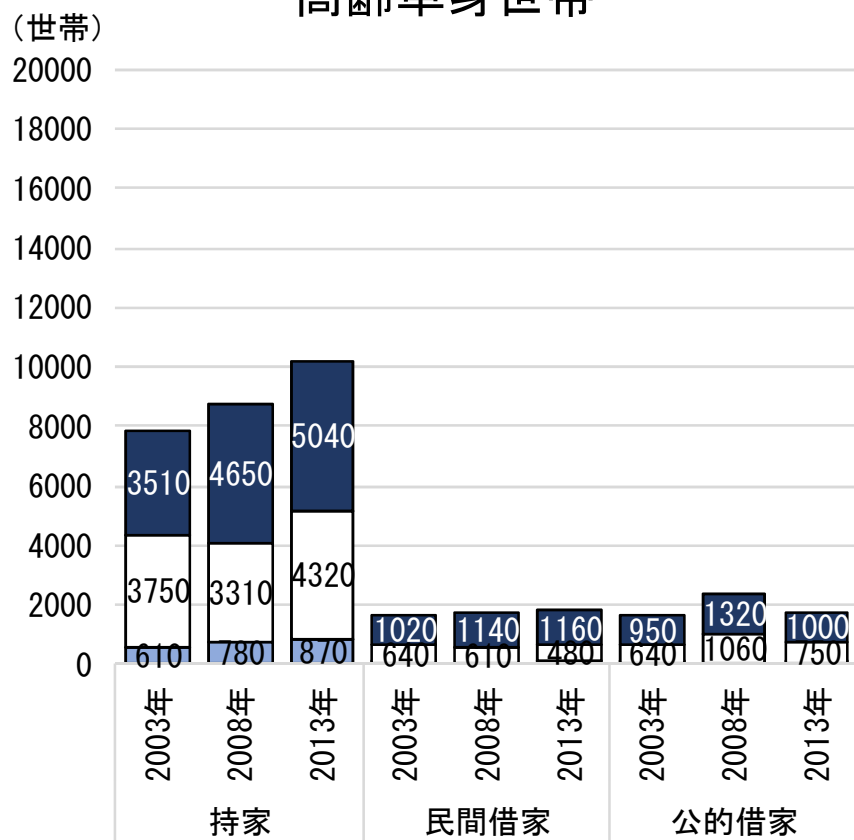
高齢夫婦世帯



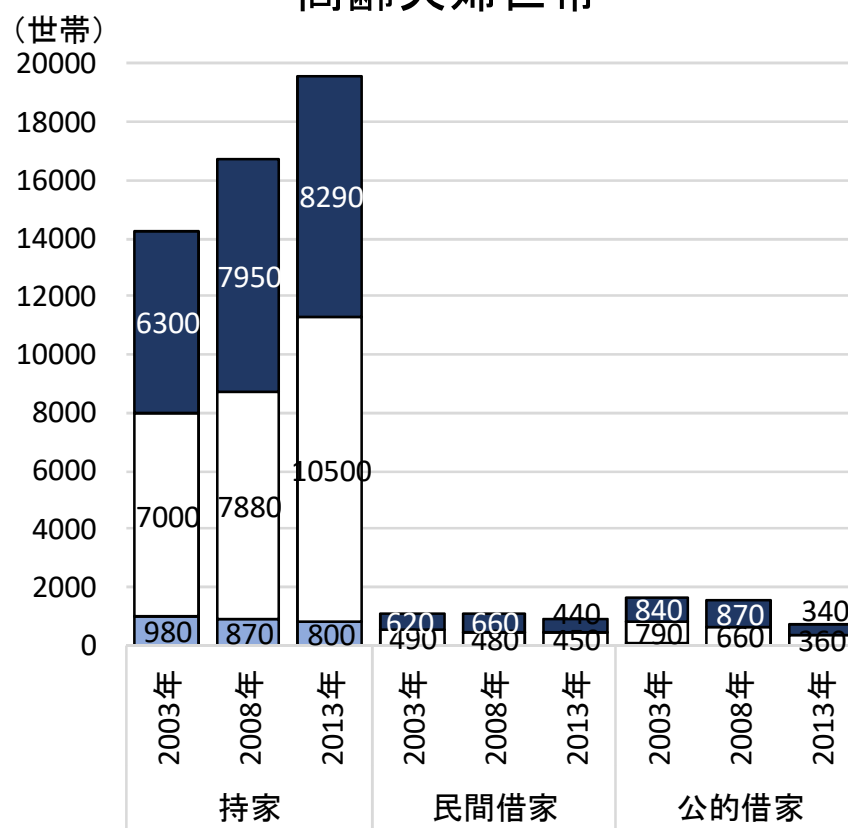
横須賀市の住宅所有別孤立的高齢世帯

- ・孤立の高齢世帯は持家に多くが居住。
- ・単身世帯では、借家に居住する孤立の高齢世帯を一定数確認。

高齢単身世帯



高齢夫婦世帯



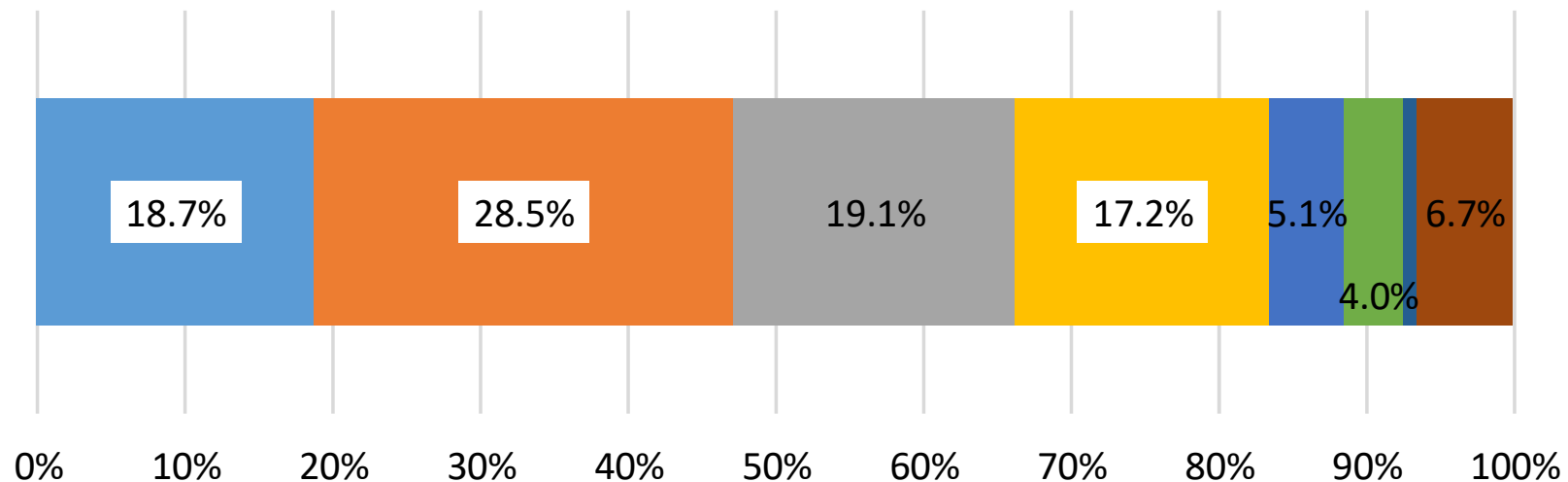
■同居・隣居 □近居 ■孤立の高齢世帯

■同居・隣居 □近居 ■孤立の高齢世帯

出所:総務省(1998~2013)「住宅・土地統計調査」

横須賀市の65歳以上高齢者のいる世帯の住宅建設年度別割合

築35年以上が約半数

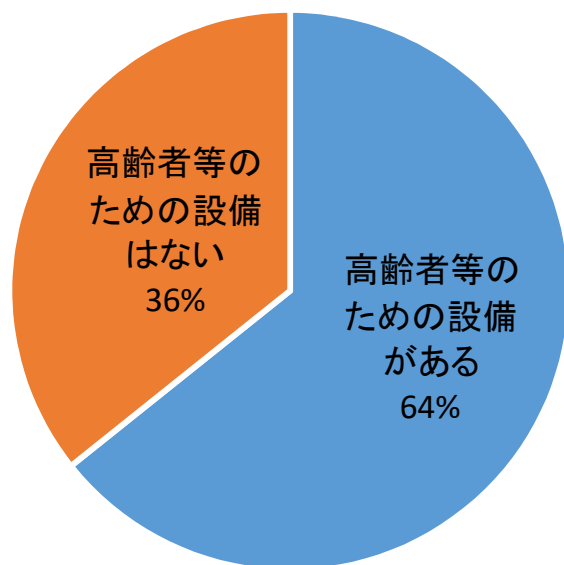


- 1970年以前
- 1971～1980年
- 1981～1990年
- 1991～2000年
- 2001～2005年
- 2006～2010年
- 2011～2013.9年
- 不詳

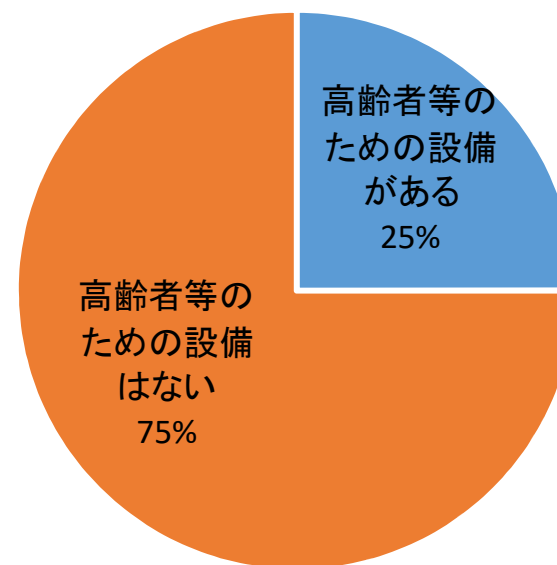
横須賀市の高齢者等のための設備の有無

- 持家よりも借家の方が高齢者等のための設備が劣る
- 単身世帯の孤立的高齢世帯の居住環境水準の低さが推察される

持ち家



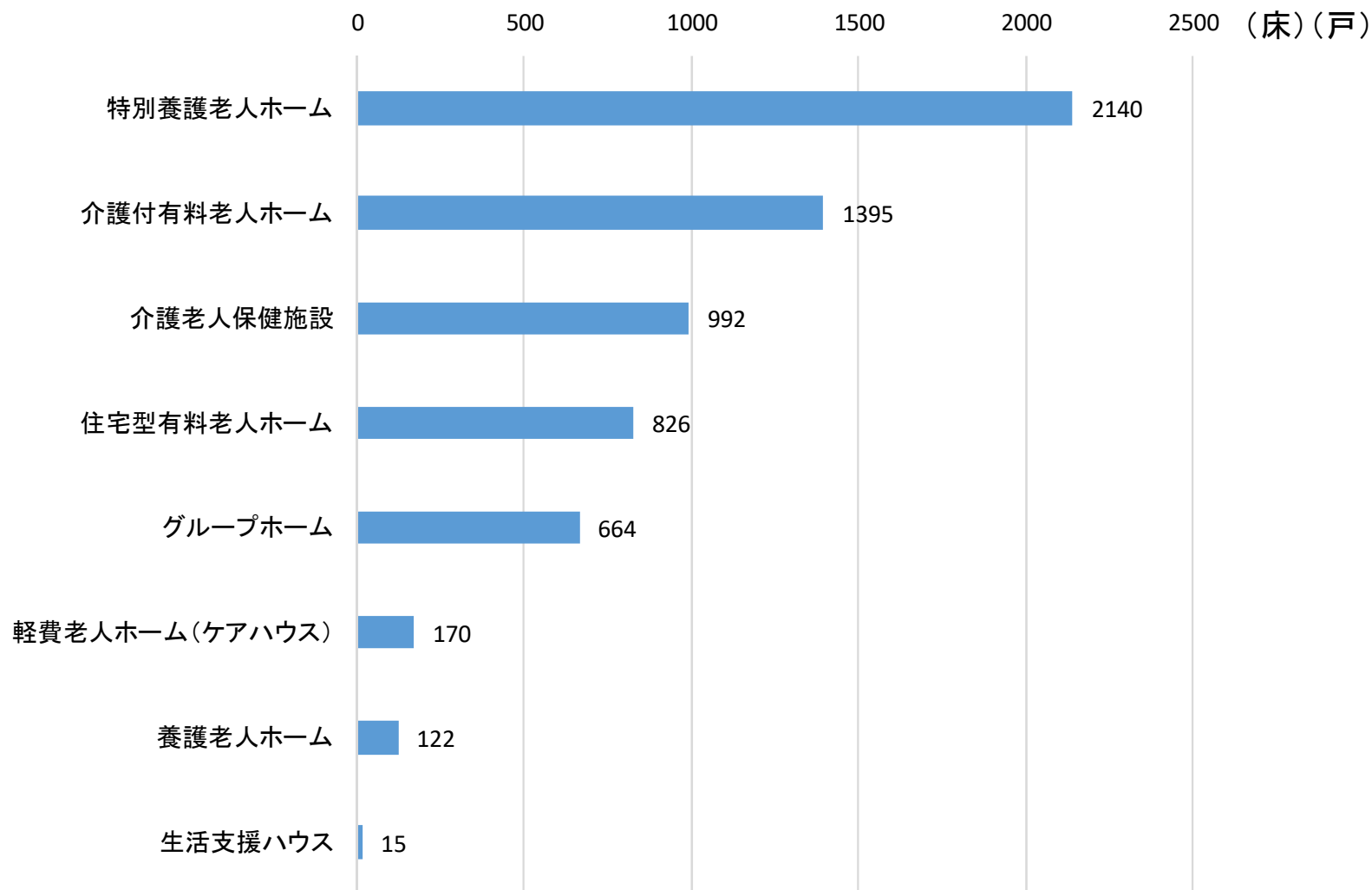
借家



注) 高齡者等のための設備・・・手すりや段差の有無、車椅子が通行可能な廊下の幅など

横須賀市の高齢者向け施設の整備状況

1万戸(床)を整備 (孤立的高齢世帯:2万5千)



まとめ

- 孤立的高齢世帯は持家一戸建てストックを中心に今後増加することが予測される。
- 高齢者向け住宅・施設のみでの対応は困難→在宅医療・介護との連携が必要
- 近居する高齢世帯が増加→居住ネットワークの視点が政策に必要
Ex.子育て世帯向けの居住環境の整備
親世帯と子世帯間の保育や介護の互助における行政支援

※本報告内容は、「横須賀白書2016—住宅ストックの現状分析と経済構造分析—」
『第I部 住宅ストックに関する現状分析と課題』に掲載しています。